

携帯電話等を用いた多言語自動翻訳システム

現在の自動翻訳技術



【現状】
小型の専用端末が主流。
定型句主体で、対応できる
話題、文章が少なく、
誤訳も多い。

【開発課題】
対訳コーパスの高度化
翻訳精度の向上
音声認識精度の向上
ネットワーク対応

自動翻訳技術研究開発成果

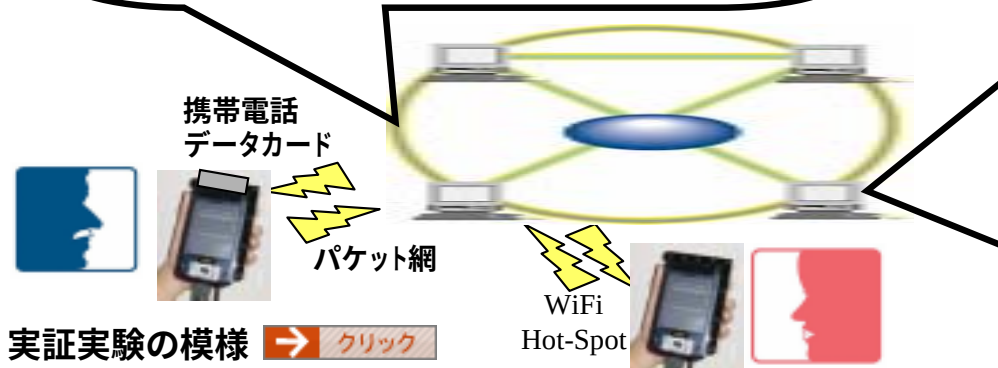


【成果】
・音声、対訳コーパスの高度化
日英100万文、日中50万文
関西空港などでの実データ収集
・ネットワーク型音声翻訳システム
携帯データカード、WiFiでの
ホットスポット対応
・マルチエンジン音声翻訳
複数の音声認識、翻訳エンジン
により最適結果を得る
・達成性能
日英:TOEIC 650点相当
日中:HSK4級 相当 を達成

携帯電話等を用いた多言語自動翻訳システム

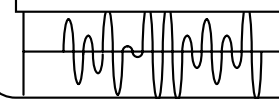
④ ネットワークを活用した翻訳処理技術

ストレスの少ない翻訳環境の実現のため、
・端末における多様な入力方法への対応
・サーバとクライアント間の最適な処理の分担
・複数の認識・翻訳エンジンによる高精度化
等の技術開発が必要。



① 多言語音声認識技術

～までの道を教えてください。



認識
変換

～までの
道を、教えて
ください。

【要素技術】
・複数エンジン音声認識
・多言語音声データベース

② 多言語言語翻訳技術

～までの、道を、
教えてください。

翻訳

Please let me
know the
way to ...

【要素技術】
・ネットワーク翻訳
・複数エンジン言語翻訳
・大規模対訳コーパス構築

③ 翻訳内容の最適出力技術

Please let me know
the way to ...

変換

Please let me know the way to .



【要素技術】
・高品質高速音声合成
・大規模音声データベース